

Step 2 標準問題



時間
25分



合格点
70点



得点
点

解答▶別冊1ページ

1 [地球儀と世界地図] 略地図Ⅰ～Ⅲを見て、各問いに答えなさい。

1 (1)・(4) 5点×4
他 10点×2＝40点

略地図Ⅰ



(1) 略地図Ⅰ中のXの経線、Yの緯線を特に何というか、それぞれ答えなさい。

(2) 略地図Ⅰ中のA国などの高緯度地域で見られる太陽が沈んでも薄明るい現象や、太陽が1日中沈まない現象を何といいますか。

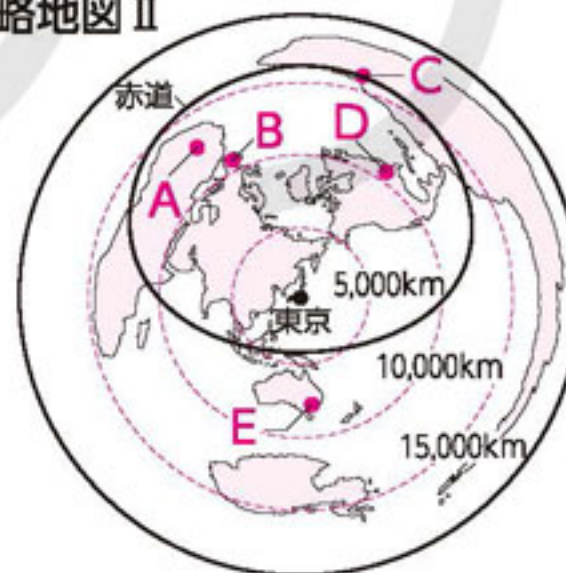
(3) 東京からの距離と方位が正しく表されている略地図Ⅱに関する説明として正しいものを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 都市B・C・Dは東京から15,000 km 以内に位置している。

イ 東京から最短距離で移動するとき、日付変更線上を通過するのは都市A・Dである。

ウ 都市Eは南半球に位置する。

略地図Ⅱ



(4) 略地図Ⅲは、地球儀を東京が中心になるように正面から見てえがいたものである。なお、経線と緯線はいずれも20度間隔である。

①東京と季節が逆になる都市を4都市から1つ選びなさい。



②西経に位置する都市を5都市から1つ選びなさい。

略地図Ⅲ



〔徳島・岡山一改〕

ポイント

(2) 南極や北極に近い高緯度地域で見られる現象である。

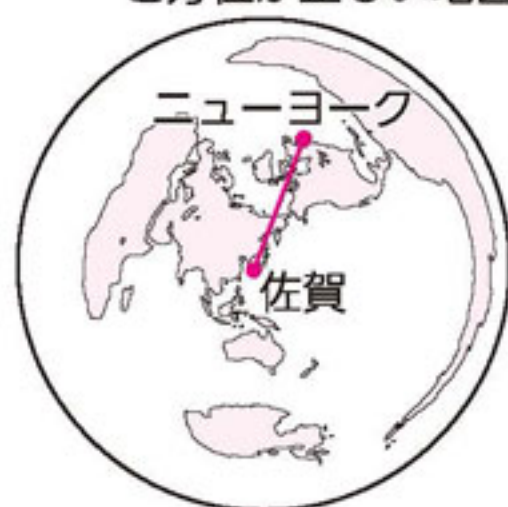
(3) 日付変更線は太平洋上にあり、およそ経度180度に沿って引かれている(略地図Ⅰ参照)。

(4) ①地軸が傾いているため、北半球と南半球では季節が逆になる。

②西経は、経度0度より西に経度180度までの範囲である。

2 [図法の特徴] 次の地図1・2を見て、各問いに答えなさい。

地図1 中心(佐賀)からの距離と方位が正しい地図



地図2 緯線と経線が直角に交わった地図



- (1) 地図1の佐賀から真東に向かう直線を引きなさい。ただし、直線は地図の外周を表す円まで引くこと。



- (2) 地図1には、佐賀からニューヨークまでの最短コースを示した直線が引かれている。このコースを地図2に示したのとして最も適当なものを、ア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

- (3) 佐賀の、地球の中心を通った反対側の地点として最も適当なものを、地図2中のA～Dから1つ選び、記号で答えなさい。



- (4) 地図2の図法の短所を、「緯度」と「面積」という語句を使って答えなさい。
[佐賀・愛媛-改]

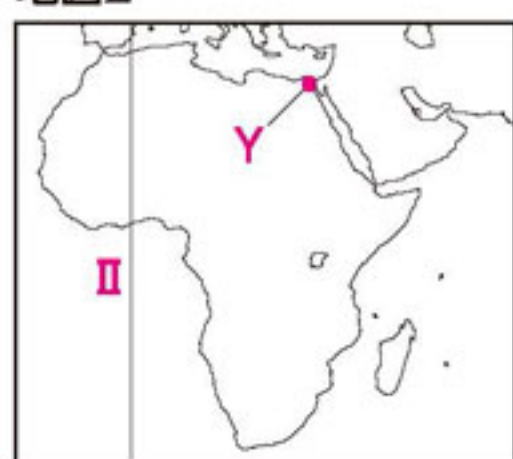
3 [地図の読み方] 次の地図1～地図3は、世界の一部地域を表した略地図である。あとの各問いに答えなさい。なお、Ⅰ～Ⅲは経線を示しており、各地図の縮尺は異なる。

地図1



注 〇はA国のおもな領域

地図2



地図3



- (1) 地図1～地図3に関する文として内容が適当なものを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア A国は、日本より人口密度が高い。

イ 地図2と地図3にインド洋が見られる。

ウ Xは、Yから見て地球の中心を通った反対側の地点である。

- (2) Ⅰ～Ⅲのそれぞれの間を赤道に沿って東向きに移動するとき、移動距離が最も小さいものを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ⅠからⅡ イ ⅡからⅢ ウ ⅢからⅠ [岡山-改]

2 (10点×4＝40点)

(1)	(地図1に示す)
(2)	
(3)	
(4)	

ポイント

- (3) 地図1で、佐賀から最も遠い大陸がどこかを確かめる。
(4) 北極近くにあるグリーンランドがかなり大きく表されている。

3 (10点×2＝20点)

(1)	
(2)	

ポイント

- (2) Ⅰは北アメリカ大陸の東岸を通っているので、西経70～80度、Ⅱはアフリカ西部を通っているので、経度0度、Ⅲは日本を通っているので、東経135度と考える。0度の経線を基準に経度は決められているので、東経でも西経でも、度数が小さいほど0度の経線に近い。